

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	埼玉県社会福祉総合センター
指定管理者	社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会
評価対象年度	令和6年度
施設所管課	福祉部社会福祉課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の安心・安全、平等利用の確保	安全性の確保	A	管理の瑕疵による重大な事故は0件であった。消防・防災訓練を実施し、安全性の確保に努めた。
	法令等の遵守	A	法令等を遵守し、県への報告も適時・適切に行われている。
	平等利用の確保	A	貸し会議室等の施設の平等利用に努め、不適切な利用許可等はなかった。
施設の設置	事業の実施	A	貸し館業務、福祉研修、福祉情報の提供の業務について、概ね事業計画どおり実施された。
	利用状況	B	管理目標について目標を下回った項目が半数を超えた。目標を下回った要因は、オンライン研修・会議の普及に伴い会議室の利用が減少していることや特例貸付終了後、償還に関するホームページアクセスが落ち着き、アクセス件数が減少したことである。
目的の達成	適切な管理の履行	A	協定書や事業計画に沿った管理が適切に履行されている。
	財産の適切な管理	A	施設設備の修繕について、迅速に対応している。また、備品等についても適切に管理されている。
利用者サービスの向上	サービス内容の向上	A	各事業において利用者アンケートを行い、利用者の声を事業等に反映している。
	利用者の満足度	A	利用者からの苦情等の指摘は特になかった。各事業の利用者満足度は概ね管理目標を達成している。
総合評価		A	大部分の評価項目において、適切に管理運営が行われている。

特記事項	特に評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 各事業の利用者満足度は概ね管理目標を達成し、高い評価を得ることができた。 施設修繕について、利用者に不便を来さないよう迅速に対応している。
	次年度に向けて改善が望まれる点	<ul style="list-style-type: none"> 会議室等稼働率、図書・ビデオ等貸出件数等5項目について管理目標を達成することができなかった。 令和7年度は、利用者の利便性向上や効果的な広報に努め、会議室等稼働率や図書・ビデオ等貸出件数等を増加させることが望まれる。